

(様式第1号)

平成23年 4月26日

北海道建築士会地域貢献活動センター地域貢献活動基金助成申請書

(一社) 北海道建築士会
北海道建築士会地域貢献活動センター 様

申請者名 針ヶ谷 拓己 印

北海道建築士会地域貢献活動センターの活動基金助成を受けたいので下記の通り申込みます。

1. 活動団体の名称

(一社) 北海道建築士会札幌支部青年委員会
2. 活動団体の代表者

(一社) 北海道建築士会札幌支部青年委員会 針ヶ谷 拓己
3. 活動団体の所在地

札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル 6階
4. 活動団体の連絡責任者と連絡先
責任者氏名 針ヶ谷 拓己
〒000-0000 札幌市中央区

TEL 055! \$\$\$! \$\$\$\$ FAX \$\$\$! \$\$\$! \$\$\$\$ E-mail !!!!!!!4!!!!!"Wa
5. 活動者数(士会員数及び氏名) ※書ききれない場合は別紙を添付して下さい

針ヶ谷拓己 他16名(氏名は別紙 活動者一覧のとおり)
6. 活動の目的

建築士として地域住民に役立つ活動をしていく
7. 活動実績 ※当該活動団体が今まで行ってきた活動内容を記入する。無い場合は記入不要
平成21年4月4日 下記イベント実施

イベント名「みんなのまちの美観を考える～これからのゴミステーション～」
8. 対象事業 ※ホームページに記載の対象事業の9つのテーマから該当するテーマを選び記入して下さい

2.景観の保全・再生
9. 今回申請する事業名

みんなでつくる 景観まちづくり ～地域の安全・安心はゴミステーションから始まる～
10. 助成希望額

160,000円
11. 事業費総額(予定額を含む)

400,000円

(様式第2号)

事業計画書

今回申請する活動の具体的内容

対象事業	2.景観の保全・再生
事業名	みんなで作る 景観まちづくり ～地域の安全・安心はごみステーションから始まる～
事業目的	札幌市白石区の広範囲にわたる町内会の方々を対象に、景観やまちづくりのことに興味を持っていただくことを目的とする。
協力団体等	(一社)北海道建築士会 青年委員会
事業内容	1. 札幌支部青年委員会の今までの取組、景観の重要性の説明 2. カラス除けゴミサークルの製作説明及び製作実演 3. 講演「自分たちでまちを創る！」講師：藤女子大学 大垣教授 4. ワークショップ「世代間交流のできるまちづくり」
事業実施期間	平成23年5月14日・5月21日
活動の行程	1. 5月14日 リハーサル 2. 5月21日 カラス除けゴミサークルの実演 講演：「自分たちでまちを創る」 ワークショップ：「世代間交流のできるまちづくり」
実施により期待される効果	地域のゴミステーションをきれいにすることで、きれいな景観、安全・安心なまち（割れ窓理論より）になっていくとともに、建築士が地域社会に介入するきっかけとなること。
他の助成・受託の有無とその内容	有り 北海道建築士会青年委員会 240,000円
将来計画	景観まちづくりを中心とした継続的な活動を計画しています。

注) 事業内容は詳細に記入してください。規約、定款、組織図等があれば添付して下さい。

(様式第3号)

収 支 予 算 書

1. 収入の部

収入科目	予算額(円)	内 訳
地域貢献活動基金助成金	160,000	
自己資金		
その他の資金	240,000	北海道建築士会青年委員会
合 計	400,000	

2. 支出の部

支出科目	予算額(円)	内 訳
(助成対象項目)		
会場費	20,000	リハーサル含む
広報費	30,000	チラシ製作費(25,000円) チラシ出力(A4カラー100枚 5,000円)
印刷製本費	40,000	A1パネル製作費
諸謝金	30,000	講師謝礼
旅費交通費	40,000	バス1台
小 計	160,000	
(助成対象外項目)		
会議費	40,000	懇親会会場費
印刷製本費	126,000	A1パネル製作費(80,000円) A1アルミフレームパネル(30,000円) A4カラー 1枚×200人×50円=10,000円 A4白黒3枚×200人×10円=6,000円
材料費	10,000	プラダン、ハトメなど 10,000円
旅費交通費	14,000	打合せ会議 1,000円/人
雑 費	50,000	ゴミ袋100枚×200円、ネームプレート、 会場内お茶お菓子
小 計	240,000	
合 計	400,000	

*助成対象外項目について、特に予算書に計上しない項目は記載しなくて結構です

(様式第4号)

平成23年7月7日

(一社)北海道建築士会
北海道建築士会地域貢献活動センター 様

活動団体名 (一社)北海道建築士会札幌支部青年委員会
代表者名 針ヶ谷 拓己 印

平成 23年度 北海道建築士会地域貢献活動基金助成事業完了報告書

平成 年 月 日付け、北建士第 号により助成決定を受けた事業が完了したので、
別紙の通り報告します。

1. 活動状況

1) 活動報告

団体名	(一社) 北海道建築士会札幌支部青年委員会	
対象事業	2. 景観の保全・再生	
事業名	みんなで作る 景観まちづくり ～地域の安全・安心はごみステーションから始まる～	
事業目的	札幌市白石区の広範囲にわたる町内会の方々を対象に、景観やまちづくりのことに興味を持っていただくことを目的とする。	
実施期間	平成23年5月14日・5月21日	
実施活動内容と活動の成果	<p>1. 札幌支部青年委員会の今までの取組、景観の重要性の説明 2. カラス除けゴミサークルの製作説明及び製作実演 3. 講演「自分たちでまちを創る！」講師：藤女子大学 大垣教授 4. ワークショップ「世代間交流のできるまちづくり」</p> <p>町内会の方々にも関心の高い「ゴミステーション」を切り口にしたことから、景観や景観まちづくりについて少しでも興味を持っていただけたと実感しています。また町内会の方々と全道各地の青年建築士とが合同で「世代間交流のできるまちづくり」をテーマにワールドカフェ方式によるワークショップを行ったことで、世代を越えた活発な意見交換が行われ、終了時には、それぞれの今後の活動へのヒントとなるキーワードが模造紙いっぱい書き込まれました。</p>	
		
	札幌支部青年委員会の今までの取組説明	ワークショップ (ワールドカフェ方式)
今後の課題 将来計画等	町内会、建築士会ともに会員減少が悩みでありました。今後も景観まちづくりについての活動を町内会と継続していくとともに、次世代の会員となっていく、若者や子どもたちへのアプローチも考慮していきたいと思えます。	

2) 活動状況写真

	
<p>オープニング</p>	<p>カラス除けゴミサークルの製作説明</p>
	
<p>カラスの特性をユニークに説明</p>	<p>講演「自分たちでまちを創る！」</p>
	
<p>ワールドカフェ方式によるディスカッション</p>	<p>討議内容の発表（学生の参加者）</p>

※ 引伸ばして使用する場合が有りますのでリサイズしていない写真データも提出願います。

2. 収支決算書

1) 収入の部

収入科目	予算額 (円)	決算額 (円)	内 訳
地域貢献活動 基金助成額	160,000	162,000	
自己資金			
その他の資金	240,000	285,924	北海道建築士会青年委員会
合 計	400,000	447,924	

2) 支出の部

支出科目	予算額 (円)	決算額 (円)	内 訳
(助成対象項目)			
会場費	20,000	17,200	リハーサル含む
広報費	30,000	30,000	チラシ製作費 (25,000 円) チラシ出力 (A4 カラー100 枚 5,000 円)
印刷製本費	40,000	44,800	A1 パネル出力 8 枚 (27,600 円) A1 アルミフレーム 8 枚 (17,200 円)
諸謝金	30,000	30,000	講師謝礼
旅費交通費	40,000	40,000	バス 1 台
小 計	160,000	162,000	
(助成対象外項目)			
会議費	40,000	90,500	懇親会会場費・飲食代
印刷製本費	126,000	131,000	A 1 パネル製作費 (76,000 円) A 1 アルミフレームパネル (28,000 円) A4 白黒 プログラム、アンケート、メモ 600 枚 A4 カラー ゴミシケル作り方 120 枚 A4 カラー 駐車場案内 40 枚
材料費	10,000	10,624	プラタン、ハトメ他
旅費交通費	14,000	12,680	リハーサル交通費 14 名
雑費	50,000	41,120	ゴミ袋 100 枚×200 円、ネームプレート、 会場内お菓子他
小 計	240,000	285,924	
合 計	400,000	447,924	